

令和元年度第1回少年愛護センター運営委員会 会議録

1 日時 令和元年5月14日(火) 19:30~20:30

2 場所 あわら市役所 101会議室

3 所長開会挨拶

4 委員長挨拶

5 議題

令和元年度事業計画(案)並びに補導計画(案)について
その他

6 出席者

【愛護センター運営委員】

玉川 洋一	志田 智子	坂東 智範	大黒 康弘	平本 功
齊藤 洋	見澤 美智代	杉本 大亮	江守 耕一	江川 ヤエ子
小濱 弘範	山田 泰照			

(敬称略)

【事務局】

大代 紀夫 (愛護センター所長・教育長)
齊藤 利秋 (同事務局長)
吉川 一郎 (同専門補導員)
岡田 晃昌 (あわら市教育委員会文化学習課長)
佐川 隆紀 (同主事)

7 会議経過

所長開催の挨拶、委員長の挨拶後、委員の自己紹介。

事務連絡として、本年度新たな委員への委嘱状についての説明。

その後小濱委員長が議長となり、議題に入る。

齊藤局長より本年度のあわら市愛護センター活動方針、また、吉川専門補導員より令和元年度の事業計画(案)並びに補導計画(案)の説明があり、その後、その他として全般的な意見交換を実施。

8 意見交換・質疑応答内容（概要）

- ・街頭補導での補導件数等はどうなっているか。
→平成30年度の補導日誌をみると全部で13件。内容は補導というより声かけである。
- ・高校生などはネットばかりして勉強時間が確保できないのではないかと思う。その辺の実態はどうか。
→ゲーム等で夜更かしをして朝起きられない生徒は少しいる。それで不登校気味になる生徒も少数だがいる。夜遅くまでSNSで情報交換をしているので勉強ができていない状況もある。
- ・高校、中学でビデオを使ってネット上のエチケットとか、夜何時過ぎたらこれ以上はしないでおこうとか教育する機会を設けるといいと思う。
→ネットに関する働きかけは色々な方面から行っており、人権擁護委員でも「スマホの使い方講座」などを行っている。
- ・シグナルの発行は年に何回か。
→年に3回、夏休み、冬休み、春休みの前に全児童生徒に発行している。
- ・フィルタリングについて、携帯会社は使用者が中学生であればかけるのか。
→7月から条例で、フィルタリングをかけない場合は親が「なぜかけないのか」という理由書を携帯会社に出すことになっている。
- ・若い先生からすると、子どもたちがSNSを利用する状況をどう思うか。
→小学生はまだまだ未熟であり、自分で自分の気持ちをコントロールすることができないから、親の責任が重大であると思う。
本校では6年生を対象に夏休み前、「ひまわり教室」を開催して指導している。

以上